



# 会社情報 / 株式情報

Corporate Profile / Stock Information

## ■ 会社概要 (2021年9月30日現在)

社名 株式会社構造計画研究所  
 英文商号 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.  
 設立年月日 1959年5月6日  
 資本金 1,010百万円  
 決算期 6月  
 上場市場 東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)  
 事業内容 エンジニアリングコンサルティング /  
 プロダクトサービス

## ■ 事業所所在地

本所 〒164-0012 東京都中野区本町4-38-13  
 日本ホルスタイン会館内  
 本所新館 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3  
 中野坂上別館 〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1  
 住友中野坂上ビル5F・10F  
 名古屋支社 〒450-6325 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1  
 JPタワー名古屋25F  
 大阪支社 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3  
 御堂筋MTRビル5F  
 福岡支社 〒812-0012 福岡県福岡市博多区  
 博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル8F  
 熊本構造計画研究所 〒869-1235  
 熊本県菊池郡大津町室1315  
 上海駐在員事務所 〒200120 中華人民共和国上海市浦東新区  
 世紀大道100号 上海環球金融中心15F  
 KKE SINGAPORE PTE. LTD. 600 North Bridge Road, #14-01 Parkview  
 Square, Singapore 188778

## ■ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 21,624,000株  
 発行済株式総数 5,500,000株  
 株主数 4,891名

## ■ 株主メモ

事業年度 7月1日～翌年6月30日  
 定時株主総会 毎年9月  
 配当金受領株主確定日 3月31日、6月30日、9月30日及び12月31日  
 基準日 6月30日  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL <https://www.kke.co.jp> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## ■ 構造計画研究所

KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.



見やすく読みまちがえにくい  
 ユニバーサルデザインフォント  
 を採用しています。



# Innovating for a *Wise Future*

## 第64期 第1四半期 株主通信

2021年7月1日～2021年9月30日



証券コード  
4748



ヒト・モノ・コトをつなぐエンジニアリングで、  
 社会をうごかすさまざまな仕組みを創出していきます。

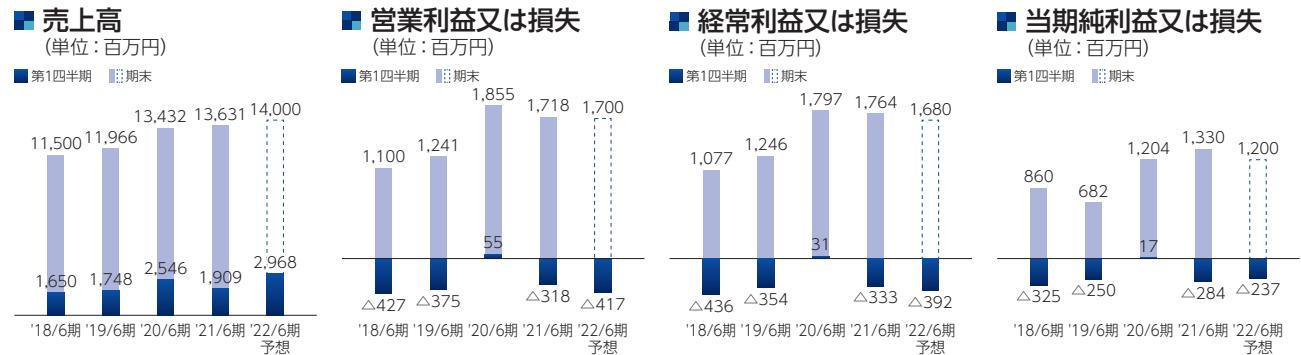
## ■ 構造計画研究所

KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

## 第1四半期累計期間の業績

当第1四半期累計期間においては、前事業年度から繰り越した68億46百万円の受注残高に加え、36億61百万円（前年同四半期は31億36百万円）の受注を獲得しました。こうした受注状況や、収益認識会計基準等の適用等により売上高は29億68百万円（前年同四半期は19億9百万円）となりました。また、営業損失は4億17百万円（前年同四半期は3億18百万円の損失）、経常損失は3億92百万円（前年同四半期は3億33百万円の損失）、四半期純損失は2億37百万円（前年同四半期は2億84百万円の損失）となりました。

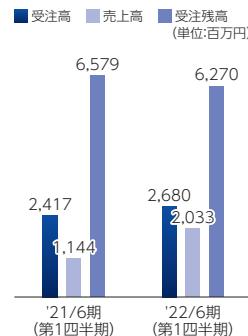
当第1四半期累計期間と前第1四半期累計期間の売上高を比較すると、収益認識会計基準等の影響により増収ではあるものの、利益率は低下しております。しかし、当第1四半期累計期間の売上総利益率と前第1四半期累計期間に収益認識会計基準等を適用した場合の売上総利益率は同程度であり、当社の事業は順調に推移しております。



## セグメント別の概況

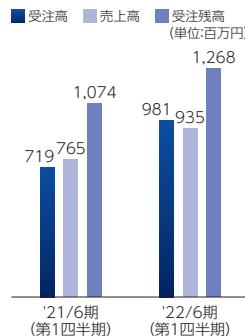
### ■ エンジニアリングコンサルティング

継続顧客からの受注に支えられ、住宅・建設分野向けのシステム開発業務が順調に推移しました。また、再生可能エネルギーとして注目されている風力発電関連ビジネスへの需要もあり、構造設計コンサルティング業務も底堅く推移しております。通信業界における研究開発投資等は活発な状況が続いており、情報通信技術コンサルティング業務の見通しは順調な状況です。



### ■ プロダクツサービス

クラウドビジネス全般が引き続き順調に推移しました。パッケージ販売型プロダクツにおきましては、設計者向けCAEソフトの販売が底堅く推移しております。また、情報通信分野における電波伝搬関連等の新規プロダクツも順調な滑り出しとなりました。



## ■ 四半期貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

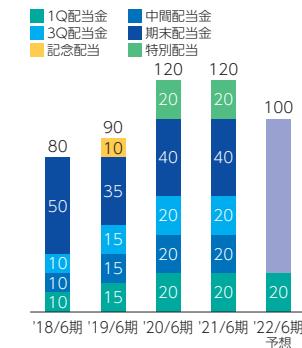
	前事業年度 2021年 6月30日現在	当第1四半期 2021年 9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	6,069,787	4,144,570
現金及び預金	2,120,171	597,475
受取手形及び売掛金	1,699,785	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,065,685
仕掛品	601,633	53,241
その他	1,648,197	1,428,166
固定資産	9,478,745	9,819,783
有形固定資産	5,442,900	5,637,676
無形固定資産	374,300	343,656
投資その他の資産	3,661,544	3,838,451
資産合計	15,548,533	13,964,353
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,951,583	3,031,633
買掛金	324,094	267,356
1年内返済予定の長期借入金	512,839	493,006
その他	3,114,649	2,271,270
固定負債	4,440,552	4,238,505
長期借入金	1,802,872	1,576,882
社債	150,000	150,000
株式報酬引当金	138,103	150,521
退職給付引当金	2,223,466	2,237,564
役員退職慰労引当金	20,540	20,540
資産除去債務	97,850	96,552
その他	7,719	6,442
負債合計	8,392,135	7,270,138
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	7,023,541	6,567,475
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,325,209	1,325,209
利益剰余金	5,453,772	4,886,610
自己株式	△765,639	△654,544
評価・換算差額等	132,855	126,739
純資産合計	7,156,397	6,694,215
負債純資産合計	15,548,533	13,964,353

## ■ 四半期損益計算書 (要旨)

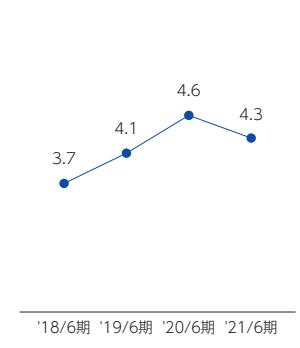
(単位: 千円)

	前第1四半期累計 (2020年7月1日から 2020年9月30日まで)	当第1四半期累計 (2021年7月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	1,909,994	2,968,898
売上原価	954,218	2,041,374
売上総利益	955,776	927,523
販売費及び一般管理費	1,274,602	1,344,621
営業利益又は営業損失 (△)	△318,826	△417,097
営業外収益	5,718	33,241
営業外費用	20,060	8,552
経常利益又は経常損失 (△)	△333,167	△392,407
特別損失	65,056	413
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失 (△)	△398,224	△392,821
法人税、住民税及び事業税	2,033	5,506
法人税等調整額	△115,671	△161,160
四半期純利益又は 四半期純損失 (△)	△284,586	△237,168

## ■ 配当の推移 (単位: 円)



## ■ 配当利回り (単位: %)



## 木製パネル耐震壁「CLT市松ブロック壁」の特許取得 ～CLT市松ブロック壁を適用した認定こども園「ひまわり幼稚園」が竣工～

当社は、環境にやさしい木質素材であるCLT（Cross Laminated Timber：直交集成材）を活用した木製パネル耐震壁「CLT市松ブロック壁」を発明し、特許を取得しました（特許番号：特許第6817397号）。

「CLT市松ブロック壁」は、CLTの小幅パネルを市松状に配置し、接合金物と組み合わせることで、採光性、通風性およびデザイン性の高い建築物を実現する木製パネル耐震壁です。実大実験から、CLT市松ブロック壁が一般的なCLT工法と比べて高い耐震性能を有するとの結果も得られています。

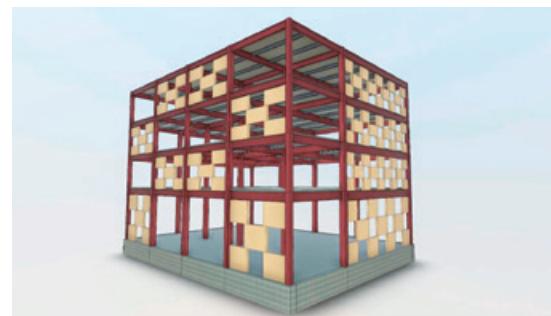
このCLT市松ブロック壁を初めて適用した認定こども園「平成学園ひまわり幼稚園」（高知県）が2021年3月に竣工し、木材利用推進中央協議会が主催する「令和3年度 木材利用優良施設コンクール」において優秀賞を受賞しています。本案件につきまして、意匠設計を隈研吾建築都市設計事務所、構造設計を当社が担当しました。



認定こども園「平成学園ひまわり幼稚園」  
CLT市松ブロック壁を取り入れることで温かみを感じられるデザインを実現

### 今後の展望

CLT市松ブロック壁を利用することで、壁式構造であるCLTパネル工法の課題であった採光性・通風性の確保と、デザイン性の高いCLT建築物の実現が可能になります。また、鉄骨造やRC造の耐震要素としてCLT市松ブロック壁を利用するなど、その使用方法についてさらなる検討を行い、水平展開を目指してまいります。



鉄骨造とのハイブリッドイメージ

## 第63期定時株主総会

2021年9月8日、第63期定時株主総会を昨年に引き続き六本木（麻布十番）にある「国際文化会館」で開催しました。会場においては、新型コロナウイルス感染症予防のため、十分な間隔での座席配置、登壇者席へのアクリル板の設置、質疑応答用マイクの消毒、運営スタッフの常時マスク着用などの対策を実施しました。

当日は67名の株主様にご出席いただき、質疑では4名の株主様から貴重なご質問、ご意見を頂戴しました。ご出席いただきました株主の皆様にご改めてお礼申し上げます。



国際文化会館エントランスへ続くアプローチ



株主総会 会場内の様子。会場内から外の庭園を展望できます。

## 内定式

2021年10月1日、当社社屋にて内定式を開催し、日本国籍36名、外国籍4名の入社予定者に内定通知書を授与しました。式典後には、先輩社員との座談会を通じて当社に対する理解を深めるとともに、入社1年目の社員が企画したグループワークを通じて内定者同士でコミュニケーションをとっていただきました。

今後とも、多様な価値観をもつ「人才」の採用・育成に取り組み、より賢慮にみちた未来社会の創出を目指してまいります。



入社1年目の社員が企画したグループワークを開催



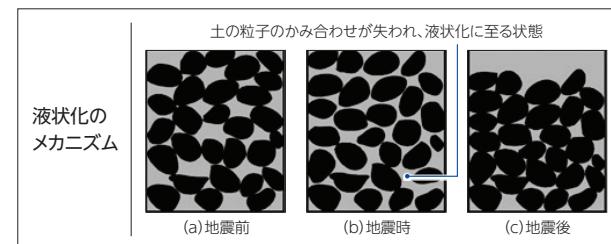
内定式の様子

## 技術力と営業力の融合により 顧客満足度を高め、 当社の存在価値を社会に 訴求していきたい

大学時代に砂地盤の研究に従事した富尾祥一は、自らの専門である土木建築関係の知識を深めたいとの思いからKKEに入社。解析部門で12年間勤務した後、資源エネルギー庁に派遣され、新たな経験を積み、今年8月からエンジニアリング営業部の部長を務めています。若き部門長として活躍している富尾に、これまでのキャリアや今後の展望について聞きました。

### 入社してからの業務について教えてください。

最初に配属された防災・環境部で主に担当していたのは、地震発生時の地盤の液状化シミュレーションです。「地震発生時に地盤が液状化した場合、敷地内の建物やこれから建てようとしている建物がどのような影響を受けるのかを知りたい」といった顧客からの相談に対し、シミュレーションによって建物の揺れ具合や建物の杭が受ける力の加減などを計算し、建物



液状化現象とは、地震などにより地盤が液体状の挙動を示す現象のこと

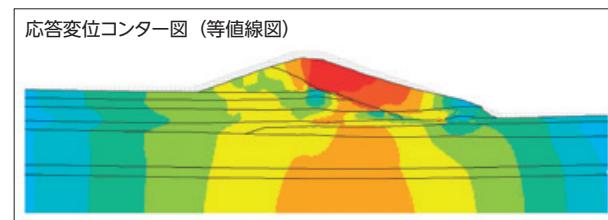


PROFILE

### エンジニアリング営業2部 部長 富尾祥一

1982年、岐阜県出身。山口大学工学部社会建設工学科卒業、同大学院社会建設工学専攻修了後、2007年4月に当社入社。防災・環境部に配属され、地盤の液状化シミュレーション業務に従事。2017年、同部室長に昇格。2019年7月、資源エネルギー庁派遣。2021年8月 エンジニアリング営業2部の部長に就任。

が揺れに耐えられるか否かの評価や、耐えられない場合は必要となる補強を提案するコンサルティング業務を行ってきました。特に重要インフラ施設である発電所を対象に実施した業務では、その解析・評価において些細なミスも絶対に許されません。そのため、かなりのプレッシャーを感じることもありましたが、無事にプロジェクトが完了した時にはほっとしました。こうした緊張感を伴う数々のプロジェクトを通して自分自身大きく成長できた実感があります。



液状化に伴う地盤のシミュレーション。赤色になるほど地盤が変形（沈下）している状態を表す。

### 2019年に派遣された資源エネルギー庁での経験について教えてください。

膨大な電力を生み出すエネルギーシステムは、扱い方を間違えると多くの人や社会を危険にさらしてしまう恐れがあります。そのため、国の関連省庁がエネルギー関連事業者に対して各種の規制をかけると同時に、規制に従って正しく活動しているかを判断するために、審査しています。その審査をリアルタイムに視聴し、技術的なポイントを踏まえ審査の本質や論点を速やかにまとめていく業務等を担当しました。

派遣先での経験を通じ、最も成長できたと感じるのは視野が広がったことですね。資源エネルギー庁では、エネルギー政策の最前線で議論・検討されていることを実際に自分の目で見える機会に恵まれたことで、顧客のニーズが生まれる原点と理由が理解できました。会社の外に出なければこうした気づきは得られなかったかもしれません。

### エンジニアリング営業2部の部長に任命された時はどう感じましたか？

資源エネルギー庁に派遣されて、顧客のニーズがどのように生まれるか考える機会を得られたことから、営業職への興味が芽生えていました。そのため、営業の仕事ができることがまずうれしかったですね。

部長職に就くことについては、プレッシャーの方が大きかったです。プレッシャーは大きくとも、それだけ会社から期待されているということなので、意気込みとしては、営業としても部長としてもこれからもっと会社や社会に貢献しなければと決意を新たにしています。

### 現在の職務について教えてください。

エンジニアリング営業2部は主に防災に関わるコンサルティングおよびパッケージソフトの営業を担当している部門です。

私の職務としては大きく2つあります。1つは部長としての職務です。部門として目指す目的地と進む方向を決め、そこに

到達するための具体的な戦略や戦術を考え、13名の部員に示し、意見をもらいつつ引っ張っていくことがその職務となります。

2つ目は未経験の一営業職としての職務です。今までは顧客の課題が分かっている前提で、その課題解決のためのソリューションやサービスを提供すればよかったのですが、営業はそもそも顧客の課題を探るところから始めなければなりません。そのノウハウは全く持っていなかったので難しさを感じています。現在、社内の営業研修を受けつつ、実戦を通して学んでいるところです。これまでの経験をすべて総動員して、「営業」という新しい職務に励んでいます。

### 仕事をする上で大切にしていることは？

KKEの社員としては、顧客が当社の何に価値を見出して対価を払ってくださるのか。自分たちはその対価に見合うだけの価値を十分に提供できているのか。これができていないとKKEの存在意義がなくなるので、常に自問自答し続け、より高い価値を提供するためにやるべきことを考えることを一番大切にしています。

部長としては、それぞれの部員が高いパフォーマンスを発揮できるための環境を整えることを最も重視しています。

### 今後の目標・展望を教えてください。

近年、大規模自然災害の増加により、民間企業や官公庁、自治体など、様々な人々がその対策に苦慮しています。その時、当社と社員の名前がぱっと頭に浮かんで、「構造計画研究所のあの人に相談してみよう」と思えるような会社になりたいですね。それができれば、「構造計画研究所」という企業の社会における存在価値が際立つと考えています。

この目標のためには顧客に当社に相談してよかったと思ってもらえるだけの価値を提供しなければなりません。そのためには営業職でも技術のことを理解しておく必要があります。そのような部員を増やし、部全体として底上げしたい。これが目下の目標です。